

# 福を招く撫猫「春日神社」

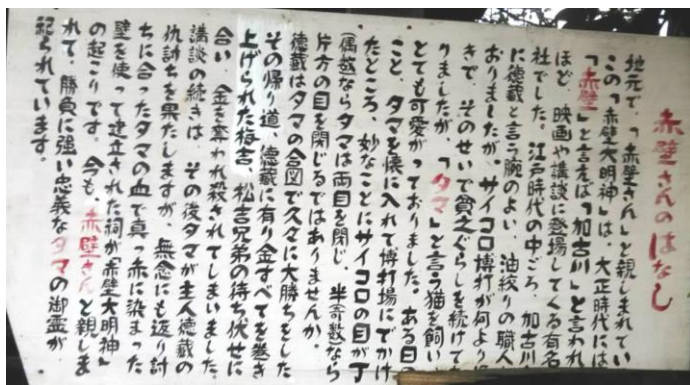


加古川大橋東詰南、第59号で紹介したニッケ社宅の西に位置する神社群です。

付近は、中世以来この地を治めた糟屋氏の居城・加古川城の城域で、敷地内に6つの神社が集う中で最古の「春日神社」は、1186(文治2)年頃に奈良の春日大社より御霊を勧進して建立されました(糟屋氏は藤原氏の出を称したので、藤原氏の氏神を勧進したとも言われています)。



一般的には白い神社の壁を赤く塗った「赤壁神社」には、博打ぼくちで飼い主にツキをもたらした伝説の猫なでねこにちなむ「招福撫猫」があり、その伝説が映画化されたこともあるそうです。



また、神社の神木として、一つの根本から雌・雄の幹が伸びる「夫婦銀杏」がそびえています。この銀杏の幹に夫婦が手を重ね合わせて触れると、円満な家庭が築けるといふ御利益があるそうです。

神社から国道2号線を北に渡ると、和菓子の老舗：福中和菓子舗があります。グルメついでに参詣してみてもは？

